

# 「全国 LD 親の会」との関係



会報に「全国 LD 親の会」の情報がよく載っていますが、この会は何ですか？

LD 等、発達障害のある子どもをもつ保護者の会の全国組織です。1990年に活動を始め、多くの都道府県に親の会があり、2000名ほどが参加しています。年に2回、会報と同封される「かけはし」は、この会の機関誌です。



これも会報でよく目にするのですが、「関東・東北ブロック会議」というのは、「全国 LD 親の会」と何か関係があるのですか？

全国組織なので、6つのブロックに分けて活動しています。いなほの会は、「関東・東北ブロック」の12グループの中の1グループです。長野県や静岡県の親の会もこのブロックに入っています。年に2回「関東・東北ブロック会議」が行われ、代表や副代表が、その会議に参加しています。



総会資料を見ると「全国 LD 親の会」に負担金としてお金を払っていますよね。いなほの会は、新潟県だけの活動で良いと思うのですが、お金を払ってまで、全国組織に加入している意味って何ですか？

発達障害に関する、教育・福祉・医療・労働などの問題について、関係機関と連携しながら、社会的な理解の向上、諸制度の改善を働きかけるためには、全国組織としての活動をする必要があるため、いなほの会は、「全国 LD 親の会」に所属しています。

「発達障害だけの手帳があるといいな」「発達障害専門の病院を増やして欲しい」というような要望は、国の制度を変えていかなければ実現できませんが、国に対しての要望は、全国的な組織である方が良いですよ。

全国組織なので、LD学会で親の会独自のシンポジウムを開催して理解啓発に努める、文部科学省の特別支援教育ネットワーク推進委員会へ参加して交流する、というようなことができています。

